

1. 評価結果概要表

平成 21年 2月 13日

【評価実施概要】

事業所番号	2072700632
法人名	特定非営利活動法人慈千会
事業所名	非営利活動法人慈千会 グループホーム波田の家
所在地	長野県東筑摩郡波田町9465-1(本家)9466(新宅) (電話)0263-91-3311(本家)91-1300(新宅)

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年2月13日	評価確定日	平成21年3月10日

【情報提供票より】(21年 1月 5日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤11人	非常勤7人 常勤換算15.45人

(2) 建物概要

建物構造	(本家)鉄筋 造り (新宅)木造
	(本家)2 階建ての 1, 2 階部分 (新宅)1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	光熱費12,000 円	
敷 金	なし			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (60000円)	有りの場合 償却の有無	なし	
食材料費	朝食	430 円	昼食	430 円
	夕食	430 円	おやつ	40円×2=80 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (1月 5日 現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	1名	要介護2	6名		
要介護3	9名	要介護4	2名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81.5 歳	最低	70 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上条医院 中央歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの窓より望む広大な景色が、入居者に四季折々の移ろいを感じられる良好な環境の中にホームが設置されている。運営者は地域のニーズに応え地域密着型サービスとしてグループホーム(認知症対応型共同生活介護施設)を開設された。
居心地の良いホームを目指し、ホーム内は徹底した清掃により常に清潔が保たれている。家庭的で明るい雰囲気と思いを含め、食事やおやつは全て手づくりで提供されている。ホーム菜園で入居者と収穫された新鮮な食材を使い、入居者と相談をしながらメニューを決められている。
なお管理者は看護師の経験から、常に入居者の身体的・精神的状態変化を見極め、職員と共に良好な支援に努められている。看取りに関する指針を整備した上で、入居者・ご家族の希望にそったターミナル支援に努力されている。入居者・ご家族の安心と、安全に繋がっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回改善が求められていた「地域住民との交流の…」文言を組み入れられた理念が作成され、管理者、全職員に周知が図られサービスケアの実践に努められている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義や目的を職員全員で理解をし、全職員で自己評価に取組まれ、日頃のケアを見直し、更なる質の向上に努められている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営会議には入居者、ご家族、地域より幅広い立場の方々に参加され、概ね2ヶ月に1回の頻度で開催されている。会議では自己・外部評価結果を参加者に提示して、改善課題について話し合われている。なお、栄養士や歯科衛生士を招き、高齢者の特徴や関わりについて、専門分野のお話を聞くと共に意見交換が行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居時の説明の折に、苦情受付担当者の提示や受付場所等の案内がされている。日頃よりご家族とのコミュニケーションを図り、良好な関係が得られるよう努められている。事故報告書も整備されて(事故発生の経緯から問題解決まで、またその後の取り組み等)、ケアサービスの質の向上に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の行事参加(文化祭・お祭り等)やホーム敷地内に多目的ホールを建設し、地域区民との交流の場を設けられている。小学生との交流や中学生の職場体験を通して、入居者とのコミュニケーションが図られている。また、散歩の折に、挨拶や近隣より、野菜や果物のおすそ分けを頂くなど、ホームへの理解と馴染みの関係が保たれている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々の方針や目標が組み入れられた内容の理念に、今年度更に見直しが行われ「地域住民との交流の下で」の文言が加えられ、地域密着型サービスとしての理念の構築が図られている。		今後更に職員全員で話し合いホームの日々の方針や目標を具体化した理念の構築に期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念を共有空間の一角に解りやすい文字で掲示すると共に、毎月開催される職員会で唱和され、共有化が図られ、日々のケアに当たられている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事参加(文化祭、お祭り等)や小学生との交流や中学生の職場体験を通して、入居者とのコミュニケーションを持たれていると共に、散歩の折の挨拶や近隣より野菜や果物等のおすそ分けを頂くなど、馴染みの関係が得られている。なおホーム敷地内に多目的ホールを建設し、地域区民との交流の場を設けられている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義を全職員が理解し、職員全員で自己評価に取り組まれている。なお外部評価の結果については、ミーティングで報告し、改善にむけて努力をされている。		

グループホーム波田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には入居者、ご家族、地域より幅広い立場の方々が参加され、概ね2ヶ月に1回開催されている。会議では自己・外部評価結果を参加者に提示して改善課題について話し合われている。なお栄養士や歯科衛生士を招き、高齢者の特徴や関わりについて、専門分野よりのお話を聞くと共に意見交換が行われている。</p>		<p>現在ホームでは年2回の防災訓練(昼夜想定)を実施されている。しかしホームには車椅子対応の入居者もあり、職員だけの誘導には限界があると思われる。ホーム災害時対策に関する理解を深め、更に地域よりの協力体制を築かれることを望みます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>理事長が町会議員でもあり、市町村職員の行き来は多いことを伺った。管理者はサービス提供にあたり、具体的な相談や意見交換を行いサービスの質の向上に努められている。</p>		<p>今後更にホームの専門性を活かし、地域の方々へ認知症の理解を深めると共に、認知症予防教室等の開催により、地域に貢献されることを期待します。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族来所時や毎月発行されているホーム便り等により、入居者の暮らしぶりや身体状況等について報告されている。(電話やメールも活用されている)預かり金については、ご家族来所時に閲覧を頂き、サインが得られている。なお年2回領収書を書面に添付して送付されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時の説明の折に苦情受付担当者の提示や受付場所等の案内がされている。日頃よりご家族とのコミュニケーションを図り、良好な関係性が得られるよう努められている。事故報告書も整備されており、(事故発生の経緯から問題解決まで、またその後の取り組み等)ケアへの前向きな姿勢が伺えた。</p>		<p>ホーム玄関等に意見箱等を設置して、ご家族の意見表出が得られる取り組みに期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職者を最小限にとどめるために、理事長、管理者共に職員が相談しやすい雰囲気づくりに努められている。また職員がやむを得ない事情で異動や離職があった場合にも、馴染みのある職員が継続した支援ができるよう体制が築かれている。</p>		<p>今後更に馴染みの職員がやむを得ない事情で異動、離職があった時にはホーム便りに掲載をし、ご家族等の不安を解消するための配慮を望みます。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、職員育成の重要性を認識し、県や市町村等からの案内を得て、多くの研修に参加できるよう配慮されている。研修を勤務扱いとし旅費提供も行われている。研修参加後には報告書を提出し、全職員で閲覧できる仕組みにより職員の資質向上が図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会場で知り得た同業者との交流を持たれている。他のグループホーム実習による職員間の交流で情報交換が行われている。身になる実習により、サービスの質の向上に努められている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員が入居予定者宅を訪問し、馴染みの関係づくりに努められると共に、ホーム見学や体験入居(おためし入居)の体制も設けられており、入居者・ご家族が安心してホームを利用できるよう配慮がされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者の尊厳を保持しつつケアにあたり、「入居者は人生の先輩である」という考えのもと、日常の関わりの中で入居者から学び支え合う関係づくりに配慮されている。なお一緒に過し、学び、支え合う関係の中で、入居者の思いに共感しケアサービスに繋げる努力がされている。</p>		

グループホーム波田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日頃から気配り・目配りによる寄り添いの支援により、入居者の思いをキャッチして入居者本位の日常生活が送れるよう努められている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者一人ひとりの状態像や生活暦を把握し、入居者・ご家族の意向等を伺い、チーム全体でアセスメントを行い、入居者本位の視点に立った介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>設定した期間(3ヶ月に1回)で定期的な介護計画の見直しが行われている。なお入居者やご家族より要望があった時や、入居者に状態の変化生じた場合には、実情に応じた介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご家族の都合により通院介助ができない場合、ご家族に代わり入居者の状態を把握した上、職員による通院介助支援が行われている。なお外出支援(買い物・美容院・お墓参り等)やご家族へのホーム宿泊支援も柔軟に対応されている。</p>		

グループホーム波田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得ながら入居前からのかかりつけ医に受診されている。入居者の状態の変化に応じ(緊急時等)入居者・ご家族と相談の上、協力医等への受診変更もされている。なお通院が困難な入居者には、主治医による訪問診療を依頼されている。常にご家族、主治医との連携を図り情報の共有が得られている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホームでは、看取りに関する指針を整備して入居者ご家族の希望にそったターミナル支援に向け早期より話し合いが行われご家族・主治医・職員と方針の共有が図られている。なお入居者に状態変化が見られた時には、入居者・ご家族の気持ちや思いを大切に主治医との24時間体制の下支援が行われている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシー確保に向け、運営者より日頃から接遇について指導が行われ、入居者一人ひとりに合った言葉掛けに配慮されている。なお個人情報の保護についても職員間で話し合われ意識の向上が図られている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的なホーム生活の流れはあるものの、その日・その時の入居者の状態に合わせ、入居者の尊厳を大切にしながら柔軟に対応されている。</p>		

グループホーム波田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの昼食時、入居者より「食事(味)が自分に合っていて、何時も美味しく楽しみにしています」と言われ、食の豊かさが伺えた。ホームでは食事ややつは基本的に手づくりと伺った。季節によりホーム菜園で収穫した食材を利用して、入居者の希望にそった献立により、職員と一緒にテーブルを囲み食事を楽しまれている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回、入浴日を設定して対応し、入居者の状態に合わせた入浴体制も用意されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や日々のケアの中より得られた情報から、一人ひとりの力量や過去の経験等を把握し、役割や楽しみごとの場面づくりに努められている。自主性を活かし、食事の下ごしらえ、お菜洗い、雑巾作り、干し柿づくり、年賀状作り、タオル体操、編み物、ビデオ鑑賞、貼り絵等やお花見、外食等により気晴らしの支援をされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望によるお墓参りやホーム行事でお花見、日帰り温泉、外食等の外出支援が行われている。なお買い物や散歩にも出かけられている。		今後更に入居者の日々の状態や入居者の希望、有する力に応じ日常的に外出(散歩等)を楽しむ支援に期待します。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	訪問時ホーム玄関に施錠はされていなかった。日中、玄関に鍵を掛けない取り組みがされている。		

グループホーム波田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>入居者を交え年2回の消火・避難訓練が実施されている。手薄になる(夜間一人の宿直)夜間想定訓練を行い、確実な避難誘導に繋げている。なお近隣に職員が多く、緊急時には応援できる体制づくりができています。地域の方々からの協力を得るために「外用非常ベル」が設置された。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の身体状況(咀嚼・嚥下)に合わせた食事が提供され、食事や水分摂取量の把握がされている。なお栄養バランスについても、年数回栄養士による献立のチェックを受けアドバイスを食の支援がされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や居間には季節の花が飾られ、安らぎと居心地の良い空間の演出や、暖房機としてベレットストーブが設置され、環境に優しい仕様となっている。なお居間の畳の部屋には炬燵も用意され、季節感が伺える。またご飯が炊き上がる匂いや茶碗を洗う音等の生活感も肌で感じられ、家庭的な雰囲気の中で、各所に配置されているソファやベンチで居心地良く過ごされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはそれぞれ思い思いの使い慣れた家具やベット等を持ち込まれると共に、壁には趣味の作品や写真等を飾り、居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。